

安心を、人と地球と、次世代に。

まず、自分のできることからチェックしてみましょう。

エコドライブ 10の すすめ

あなたのエコドライブ
チェックしてみね!

- 1 無用なアイドリングをやめる。(アイドリングストップ)**
人待ちや荷降ろしなどで駐車するときは、エンジンのかけっぱなしをやめましょう。乗用車では10分間のアイドリングでガソリン140ccの燃料が、大型ディーゼル車では一時間のアイドリングで最大1800ccもの燃料が無駄になります。
- 2 経済速度で走る。**
一般道路なら時速40km程度、高速道路なら時速80km程度で走るのが経済的な走り方です。高速道路において、時速80kmから時速100kmに速度を上げて走行した場合、ディーゼル貨物車の場合では約30%燃費が悪化する例もあります。
- 3 点検・整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にする。**
点検・整備を適切な間隔で実施することは、良好な燃費状態の維持、窒素酸化物等の排出ガスの抑制につながります。適正なタイヤ空気圧よりも0.5気圧少ない状態で50km走ると、乗用車でガソリン130ccが無駄になります。
- 4 無駄な荷物を積まない。**
車のエンジンは荷物の重さに敏感です。10kgの不要な荷物を乗せて50km走ると乗用車でガソリン20ccの燃料が無駄になります。
- 5 無駄な空ぶかしをやめる。**
10回の空ぶかしは乗用車では、ガソリン60ccの燃料が、大型ディーゼル車の場合では、100~170ccの燃料が無駄になります。
- 6 急発進、急加速、急ブレーキをやめ、適切な車間距離をとる。**
急発進、急加速を10回繰り返すと、乗用車ではガソリン120ccが無駄になります。ディーゼル車では、急発進はなめらかな発進・加速の場合に比べて、燃料が約15%無駄になります。
- 7 マニュアル車は早めにシフトアップする。**
エンジンを高速回転で使うほど窒素酸化物の排出量が増大します。アクセルをいっぱい踏み込んで低速ギアで引っ張る運転は避けて、早めにシフトアップすることが大切です。
- 8 渋滞をまねく違法駐車をしない。**
迷惑駐車は交通渋滞をもたらす余分な排気ガスを出す原因になります。平均速度が時速40kmから時速20kmに落ちると、燃費は約40%~50%悪化するとされています。
- 9 エアコンの使用を控えめにする。**
エアコン使用時はエンジンの回転数が高くなるため、結果として燃料の使用量が増加します。まめに適切な温度に調整することが重要です。
- 10 マイカー利用者は、相乗りに努める。また、公共交通機関が利用可能な場合には、できる限り公共交通機関を利用する。**
大都市圏内の交通機関が一人の車を1km運ぶ際に排出する二酸化炭素量は、地下鉄を100とすると、自家用乗用車は1,750、路線バスは650であり、可能な限り自動車の保有者がバスや電車の公共交通機関を利用することが地球環境に配慮した交通マナーです。

国土交通省では、ディーゼル黒煙クリーン・キャンペーンの一環として迷惑黒煙の通報制度を設けております。一般のみならずからの通報をお待ちしております。通報に基づき自動車からの迷惑黒煙を排除することに努力します。

<http://www.tenken-seibi.com>

黒煙チャートで、
あなたの車を点検しましょう。

